

令和5年7月13日

JDBA 会員・ジュニア会員・賛同会員 各位

特定非営利活動法人
日本デフバスケットボール協会
理事長 佐知 樹一郎

一部の選手の投稿に対する当会の見解

初めに、特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会（以下、JDBA という）の活動に、ご協力ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

ご存じの方もおられると思いますが、令和5年7月12日に Instagram にて、津屋一球氏、井上和氏、安藤勇輝氏、森井涼太氏より「特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会の現状」の声明文の投稿がありました。

本文書をもって、佐知樹一郎氏理事長が在籍する「特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会の現状」を説明させていただきます。

また、2023年3月11日の「2022年度定期総会」の資料「日本男子代表選手の Zoom ミーティング記録への所見」「2023年3月10日に送られた声明文の返答文」「JDBA の現状」「JDBA の現状説明【簡易版】」「アモンズ・レポート（ICSD 元委員長）」も JDBA ホームページにも掲載されておりますのでご確認いただければと存じます。

津屋・井上・安藤・森井氏の4名の同内容投稿の声明文にある「デフバスケットボール日本代表解散～現状」「特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会について」について4名の同内容投稿の声明文の内容に誤りがある事を指摘させていただきます。

- 1、2022年4月20日にデフバスケットボール日本代表の解散の宣言したことは事実です。ですが、その背景に、2021年2月にデフバスケットボール日本代表男子選手らの訴えから始まり、2022年3月までの一年間の篠原雅哉氏前理事長と上田頼飛氏前男子日本代表監督の行動とろうの代表選手に対する合理的配慮の欠如、全日本ろうあ連盟主催の「デフリン説明会（ブラジルデフリンピック）」に篠原雅哉氏前理事長が参加することを、理事会に報告しないまま独断で参加等の事由から、2022年4月20日時点のデフバスケットボール日本代表の解散を宣言しました。
現在、監督を交代し、新監督や新スタッフの下で日本代表活経過報告を公式 SNS にて、情報開示を行っています。
もちろん、当該選手らによる参加を拒否しているものでもなく、活動参加への門戸は開かれています。
参照：「JDBA の現状」「JDBA の現状説明【簡易版】」

- 2、投稿声明文【解散後、協会が「サインバスケ」という、聴覚障害者向けの「サインバスケ」～暗黙に強制されています。】とありますが、これも誤りです。

協会と須田将広ゼネラルマネージャー兼強化委員長が提唱する「サインバスケボール」は、母語が『音声日本語』『日本語対応手話』『日本手話』の人たち【ろう・難聴・聴者】がお互いに歩み寄れ、『バスケボールに特化した伝達手段』を作り共生社会を目指すものとなっており、強制するものではありません。

また、2023年6月26日～7月10日まで、須田ゼネラルマネージャー兼強化委員長と三瀬選手がアメリカに『サインバスケ』につながるものを見つけるために視察渡米しました。

アメリカから持ち帰った経験を元に講習会を開き、【ろう・難聴・聴者】全員に普及する企画を準備しています。

『サインバスケ』について誤解があるようなので、相互理解を深めていただくためにも当該選手らだけでなく、この見解をご覧になる皆様にも、是非とも講習会にご参加いただきたいです。

参照：「2023年3月10日に送られた声明文の返答文」

- 3、投稿声明文【佐知氏は当協会の理事長を～私物化が進んでいます】について反駁させていただきます。

佐知樹一郎現理事長が理事長の地位にあることは法的にも有効なものであると認識しております。

2022年3月の2021年度定期総会で篠原雅哉前理事長が「辞任」挨拶（動画有り）を自ら作成し、投影を行ったあと、佐知樹一郎氏現理事長が法務庁に辞任・就任したことの登記報告をしたところ、2022年から3年さかのぼり2019年からの理事辞任・就任の登記を前理事会が行っていないことが判明し、2022年に過去3年分の登記を集める際に、捺印が必要である篠原雅哉氏前理事長と他2名の理事が協力を断り、定款に則って手続きを行っていないと訴訟し、現在に至ります。自ら「辞任」挨拶を自ら作成し投影しておきながら登記に協力せず、訴訟をし、現理事会を妨害している本人こそ私物化していると言えるのではないのでしょうか。また、篠原雅哉氏前理事長が上田頼飛氏前男子日本代表監督の顔色をうかがいながら「理事長の立場の逆転」「デフ主体性の放棄」「ろう聴障者関連法の軽視」を行っていたことも私物化となんらかわらないと言えます。

参照：「JDBAの現状」「JDBAの現状説明【簡易版】」

- 4、投稿声明文【これらの一連の～管理体制が早急に確立されることが必要です】に反駁させていただきます。

管理体制が確立されることが必要とありますが、現理事会は、前理事会による理事会機能不全・職務懈怠、具体的には、20年以上に及ぶ日本のデフバスケの特徴が「全く」つかめないこと、JDBAの主要事業「ミミリーグ」「強化合宿」「啓蒙の諸活動」の告知や報告などのHP内容記載、更新がないこと、代表以外の地域のJDBA会員が不在（2021年時点で会員が約10名）、デフリンピックの目的・歴史などから「アモンズ・レポート（ICSD元委員長）」の『私たちはアスリートである前に“デフ”なのだから』の提唱する内容と2021年度JDBA理事会の活動内容に合致しません。

これらの行為によって失われた当協会の信用を回復すべく、会員の理解・協力を得ながら活動しております。引き続き、佐知樹一郎氏現理事長の理事会は、JDBAのHP（公式SNS）に「ミミリーグ」「強化合宿」「啓蒙の諸活動」告知・報告やお問い合わせの対応、パラスポーツ協会の加盟団体から

除外されたことから各企業へスポンサー活動に動き、2022 年度に掲げる理念をもとに管理体制・活動を行っています。

当協会は適切な運営を行っており、不正との指摘にあたらぬ事、引き続き、篠原雅哉氏前理事長らによる訴訟については、裁判所に、主張、立証を尽くしていく次第であります。

参照：「JDBA の現状」「JDBA の現状説明【簡易版】」